１０月１３日（火）朝礼にて　　校長講話

今、生徒会執行部や、委員長の認証、そして、部活動の表彰を行いました。３年生は、きっと頼もしく、この姿を見つめてくれたと思います。そして、１・２年生の人たちは、「よし、やるぞ」と、自分達が頑張る時期が来たことを心に刻んだのではないかと思います。こうやって、３年生から２年生１年生に代々バトンが渡され、引き継がれていく、それが伝統だと思います。

そんな中で、これは今に始まったことではないのですが、疑問に思うことがあります。昨日、弥富市の文化広場で市民の体育祭がありました。ちょうどテスト週間でしたので、多くの人は家で勉強していたかもしれません。そんな中、一部の人が代表としてリレーの種目で活躍するなど、弥中生のいい姿を見せてくれました。しかし、そこに並ぶみんなの後輩、小学生の姿が残念でした。朝礼できちんと話を聞けるのに、なぜ市民体育祭ではおしゃべりをするのだろう。同じように体育館の朝礼では整然と入れるのに、プラザでの朝礼だと口を開くのだろう。学校の登下校ではしっかりと交通ルールを守ってできるのに、部活動の遠征や普段の自転車の乗り方は乱暴になるのだろう。それが分かりません。

どうすればいいのか、答えは分かっているはずです。いいことなのか悪いことなのか、答えは明らかなのに、場面によって使い分ける人がいる。残念です。

そのあたりの自分の意識をしっかり持って欲しいと思います。何をしなくちゃいけないか。何をすることが正しいのか。そういうきちんとした物差しを持って生活してください。